

16 学力向上推進年間計画

月	月間（学力向上重点取組事項）	取組内容
1月	今年度の「学力向上年間サイクル」スタート	～児童一人一人の「確かな学力」を向上させ、「生きる力」を育む～
2月	<学力向上強化月間>1～3月 「学習ステップアップ月間」 ◎学力のステップアップ ◎当該学年の学習内容の確かな定着	<input type="checkbox"/> 冬休み明けの取組 ①冬休みの宿題点検 ②既習事項の定着の確認 ③過去問題の活用 <input type="checkbox"/> 与那原っ子学びの約束の取組 <input type="checkbox"/> 年度末の取組（まとめの学習）※当該学年の学習内容を確実に身につける。 ①既習事項定着の確認と強化 ②全児童の実態把握（学びのたしかめ結果分析）正答率30%未満の児童への支援
3月		<input type="checkbox"/> 県到達度調査（2月実施）※5年（国／算）、6年（国／算） ①自己採点と分析結果の共有 ②授業改善のポイントの共有 <input type="checkbox"/> 県到達度調査結果の活用 ①成果と課題の把握 ②課題解決に向けた取組 ③教科年間指導計画の見直し（時数等） ④授業改善のポイントを共有 <input type="checkbox"/> 学力向上の取組の総括 ①今年度の取組についての反省 ②課題への対応策の検討 ③まとめと次年度の計画 ④次年度への情報の確実な引き継ぎ
春期休業	<春休み期間中>	<input type="checkbox"/> 春休みの取組 ・全学年児童へ宿題を配布 →次年度の学級担任でチェック（基礎基本の定着を図れる内容になるよう検討する）
4月	<学力向上強化月間> 「学習規律強化月間」 ◎レディネスを揃える取組 ◎学習規律の定着 ◎家庭学習の習慣化	<input type="checkbox"/> 年度当初の取組 ①春休みの宿題点検 ②学習規律の定着 ③既習事項の定着の確認と強化 ④独自プリントや過去問の活用 <input type="checkbox"/> 学力向上月間の取組 ①学習規律の徹底指導 ※「与那原っ子学びの約束」活用 ②授業と連動した宿題の提供 ③「家庭学習の手引き」の配布と活用 ④スローガンの表示、取組の評価と対応策の検討
5月	<読書月間> ◎読書の推進	<input type="checkbox"/> 全国学力学習状況調査（4月実施） ※自己採点・入力・結果の分析 <input type="checkbox"/> 読書時間の確保 ①担任による読み聞かせ ②読書コーナーの充実 ③隙間時間の活用
6月	<平和月間>	<input type="checkbox"/> 全国学力・学習状況調査結果の活用 ①成果と課題の把握 ②課題解決に向けた取組 ③教科年間指導計画の見直し（時数等） ④授業改善のポイントを共有
7月		<input type="checkbox"/> 学びのたしかめ①（6月実施） 3年～5年（国／算） <input type="checkbox"/> 与那原っ子学びの約束の取組 <input type="checkbox"/> 家一なれーどう外なれー運動の取組（準備） <input type="checkbox"/> 1学期前半まとめの取組 ①1学期前半の取組状況と児童の学習状況の把握と分析 ②課題への対応策についての共通確認 ③授業改善のポイントの共有
夏期休業	<指導力向上月間> ◎教員研修 （分かる授業づくりの推進）	<input type="checkbox"/> 夏休みの取組 ①夏休みの宿題の配布（既習内容の定着と活用力問題） ②教育課程の点検と見直し ③全国学力学習状況調査結果の活用（文科省公表）自己採点との比較分析 ④校内研修や自主研修で授業力の向上
9月	<学力向上強化月間> ◎学習やる気アップの強化	<input type="checkbox"/> 全国学力学習状況調査結果活用 ①客観的な分析、改善策の検討 ②授業改善のポイントの共有 <input type="checkbox"/> 夏休み明けの取組 ①夏休みの宿題点検 ②既習事項の定着の確認と強化（※正答率30%未満の児童への支援） <input type="checkbox"/> 学力向上強化月間の取組 ①学び合いを意図した授業実践 ②既習事項の定着の確認 ③学びのたしかめの活用 ④独自プリントや過去問の活用 ⑤スローガンの表示、取組の評価と対応策の検討
10月	<読書月間> ◎読書活動の充実	<input type="checkbox"/> 家一なれーどう外なれー運動の取組（実践） <input type="checkbox"/> 読書活動の取組 ①図書館の時間確保 ②読書コーナーの充実 ③隙間時間の活用
11月		<input type="checkbox"/> 与那原っ子学びの約束の取組 <input type="checkbox"/> 学びのたしかめ②（11月実施）3年～6年（算） <input type="checkbox"/> 学びのたしかめ調査結果の活用 <input type="checkbox"/> 家一なれーどう外なれー運動の取組 ①成果、課題の把握 ②課題解決に向けた取組 ③教科年間指導計画の見直し（時数配分等） ④授業改善のポイントを共有
12月	<思いやり月間> ◎基礎学力の強化 ◎分かる授業づくり	<input type="checkbox"/> 年度後半の取組 ①既習事項定着確認の強化
冬期休業	休業	<input type="checkbox"/> 冬休みの取組 ①冬休みの宿題配布 ②学力向上強化月間の準備
1月	次年度の「学力向上年間サイクル」スタート	※上記の取組と同様

まとめの取組

レディネスを揃える
↓
学習規律を徹底する
↓
学習習慣を徹底する

◎「与那原っ子学びの約束」
学級提示

17 校内研修の全体構想

学校教育目標	○たくましい子 ○よく考える子 ○心豊かな子
児童の実態	<p>児童の実態</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交流する場面では、生き生きと活動に取り組むことができる。 ・最後まで聞くことができない児童がいる。 ・授業内での振り返り活動が習慣化されつつある。 ・自分の考えや振り返りを表現する力に差がある。
	<p>昨年度の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・振り返り活動の確実な実施 ・交流の仕方の工夫 <p>成果と課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ○振り返りの視点を与えたり、振り返りの内容を共有したりすることを通して、自分の言葉で書くことができる児童が増えた。 ●振り返りの型に沿って書けるようになったが、内容が不十分な児童いる。
目指す児童像	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の良さを見つけ、自分を大切にできる児童 ・めあてをもって、生き活きと活動できる児童 ・お互いの良さを認め合い、助け合うことのできる思いやりのある児童 ・明るく健康で、規律ある行動ができる児童 ・最後まで責任をもって、精一杯の努力ができる児童
研修主題	自分の考えを表現できる児童の育成 ～振り返り活動の充実を目指して～
【対象：各教科、領域】	
研究仮説	
交流の仕方の工夫と振り返り活動を充実させることによって、自分の思いや考えを書いたり、それを友達に伝えたりすることができるようになり、自分の考えに自信をもち、表現できる児童が育つのではないか。	
研究の内容	
<p>○授業構想に関して（「問い」が生まれる授業サポートガイドを参考に）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科の見方・考え方を明確にした単元構想 ・ねらいを達成した姿を明確にした単元や授業の構想 ・振り返り活動を支援するための構造的な板書やノート指導の工夫 <p>○学びを深めるために</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ねらいと学習活動、評価の整合性（プランシートの活用） ・視点を明確にした振り返り活動の実施 ・交流の仕方の工夫 	
検証方法	
<ol style="list-style-type: none"> ① 研究仮説についての実践 ② 検証授業（授業研究会、一人一実践） ③ 児童アンケートの実施と結果分析（学びのたしかめテスト、質問紙等） ④ 諸検査の結果分析 	

研究の組織



年間研修計画

月	内容	主な授業研究会 *太斜字は主事招聘	学推との関連 *下線は強化月間	その他 *()内は担当
4	○学力向上推進プロジェクト部会 ○研究計画検討 ○共通実践の確認		<u>学習規律強化月間</u> ・全国学力・学習状況調査	・特別支援関係 (特別支援コーディネーター)
5	○研究計画の推進 (理論研)		<u>読書月間</u>	・危機管理関係 (コンプライアンスリーダー、安全教育主任)
6	○研究計画の推進 (各学年)		<u>平和月間</u> ・学びのたしかめ①	
7	○1学期前半のまとめと反省	授業研究会 (小中連携:5、6年)		・心肺蘇生法 AED (安全教育主任)
8	○学びの確かめ、全国学力・学習状況調査の結果について		<u>指導力向上月間</u>	・学習評価関係 (教務主任)
9		授業研究会 (小中連携:全学年)	<u>学力向上月間</u>	★研究主任と調整連携して実施する。
10			<u>読書月間</u>	【1人1実践】 11月末までに授業実践を行い、まとめ、提出は12月末までに。
11		授業研究会 (隣学年授業研)	・学びのたしかめ②	→授業プランシートを活用する。
12	○一人一実践報告書提出 ○研究集録のまとめ方		<u>思いやり月間</u>	
1	○今年度の研究の成果と課題 ○研究集録の編集		<u>学力向上月間</u>	
2	○次年度の研究計画の構想及び提案		町一斉学校公開日 ・県到達度調査	
3	○研究集録完成、配布 ○次年度計画の確認			▼